

「第3回 白川・緑川 水防災意識社会再構築協議会」開催

平成27年9月関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、白川、緑川において氾濫が発生することを前提として洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とした「白川水防災意識社会再構築協議会、緑川水防災意識社会再構築協議会」を平成29年1月27日に発足し、白川、緑川の減災に係る取組方針をとりまとめました。

今回は、概ね5年間で実施する取組のうち、これまでの取組状況と今後の進め方について議論を行いました。

開催概要

○日時 : 平成30年2月9日(金)14:00～

○会場 : 嘉島町民会館 会議室

○出席者: 嘉島町(町長)
美里町(町長)
熊本市(代理:危機管理監)
甲佐町(町長)
御船町(町長)
宇土市(代理:副市長)
宇城市(代理:危機管理課長)
熊本県河川課(代理 審議員)
熊本県危機管理防災課(課長)
気象庁熊本地方气象台(台長)
熊本河川国道事務所(所長)
立野ダム工事事務所(所長)
緑川ダム管理所(所長)

(市町においては五十音順)

議事内容

- ・水防法改正に伴う本協議会の位置づけについて
- ・白川・緑川の減災に係る取組工程表の作成状況
- ・平成29年度の取組状況
- ・白川・緑川の減災に関する重点取組方針について



確認事項

- ・避難所自体が水没する自治体があり、広域的な連携が必要と考え、避難のあり方についても検討が必要であり、協議会としても積極的に取り組んでいくことを確認。
- ・広域避難を考慮したハザードマップ等の検討について各市町連携し積極的に取り組んでいくことを確認。
- ・白川・緑川の素材を活かした防災教育の推進について各市町で積極的に取り組んでいくことを確認。
- ・防災情報の共有に資する関係機関の情報一元化について、協議会として積極的に取り組んでいくことを確認。